

## 一般社団法人日本人間工学会第13回理事会 議事録

1. 開催日時：平成23年12月17日（土）14:30～17:30
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館2F 524会議室
3. 出席者：

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)，阿久津正大(副理事長・表彰)，青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，大久保堯夫，岸田孝弥，小谷賢太郎，斎藤真，酒井一博(横幹連・企業の間人工学教育のあり方検討委員長)，三林洋介(財務)，外山みどり(総務)，土屋和夫，富田豊，堀江良典(国際・第3期選管)，吉武良治(広報・テレワークガイド) [14名]

(理事兼支部長)：横山真太郎(北海道)，北村正晴(東北)，八田一利(総務・関東) [3名]

[計：17名]

(欠席者)：石田敏郎，大須賀美恵子，岡田明(財務)，垣本由紀子，小松原明哲(編集・子どもの人間工学委員長)，福田康明，横森求(東海)，萩原啓(関西) 村田厚生(中国・四国)，長谷川徹也(九州・沖縄)

・監事：大内啓子

・ワグザバー：藤田祐志(国際人間工学連合PSE)，横井孝志(ISO/TC159国内対策委員長)，榎原毅(ニーズ対応委員長)，梶原裕(第53回大会長)，村木里志(第53回大会事務局長)

・事務局：栗田紀子，青木彩

### 4. 議事概要

定足数14名を超える17名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進めた。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、八田一利総務担当理事が指名され承認された。

#### 【審議事項】

##### (1) 第1号議案 第53回大会における学会企画について

斉藤理事長からの学会企画についてのメール審議結果報告ののち、シンポジウムとして「最近のディスプレイ技術を巡る人間工学(仮)」(コーディネーター：吉武良治理事)が提案され、承認された。

##### (2) 第2号議案 委員会規程第2条第2項の改訂提案について

斉藤理事長より、常設委員会としてすでに承認されていた安全人間工学委員会について、委員会規程第2条第2項に記載するとの規程改定案が提案され、承認された。

##### (3) 第3号議案 IEA基盤構築へのJES寄与について

斉藤理事長からのIEA運営の現状、及びJESがIEA情報インフラ整備を支援する意義や目的についての説明の後、支援の規模、内容等について提案があった。議論の後、JESによる支援に関し、2012年6月のJES社員総会承認を前提条件として、2012年2月のブラジル・レシフェでのIEA Council Meetingにおいて提案すること、及びその具体化を検討する臨時委員会としてウェブアクセシビリティ支援委員会(委員長：青木和夫)を設置することが承認された。

同委員会では、JIS X 8341-3（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）等を利用し、ユーザビリティやアクセシビリティなどの人間工学的な配慮を行った IEA ウェブサイトを新たに作成するための支援を行う。（この件のほか、IEA に関連するものとして報告事項(5) IEA Officer への JES 推薦、(8-3) 国際協力委員会報告、(8-8) 国際人間工学連合 PSE 担当報告を参照）

(4) 第4号議案 薄型テレビの人間工学設計ガイドラインについて

薄型テレビの視聴に関する人間工学ガイドライン検討委員会（窪田悟委員長）から提案された「薄型テレビの人間工学設計ガイドライン」（日本語版、英語版）を回覧した。内容を理事会メンバーが委員会関連の HP 上で確認できるようにし、内容に修正が無ければ、本日 2011 年 12 月 17 日付で本学会の著作物として承認し、2012 年 1 月に学会 HP で公開する。

(5) 第5号議案 第54回大会長について

八田総務担当理事より、メール審議では堀江良典理事の推薦が複数あったことが報告され、堀江理事を日本人間工学会第54回大会長とすることが承認された。会場は日本大学生産工学部津田沼校舎、会期は2013年6月1日(土)、2日(日)もしくは15(土)、16日(日)の予定。

(6) 第6号議案 研究倫理審査機関の設置について

八田総務担当理事からのメール審議の結果報告の後、賛否の議論があった。研究倫理審査検討委員会はそれらを持ち帰って検討し、次回理事会に報告する。

(7) 第7号議案 賛助会員特典の見直しについて

八田総務担当理事より、メール審議を経た修正案が提案され承認された。

(8) 第8号議案 理事の任期制について

富田理事より、理事の再任に制限を設けることが提案された。富田理事を中心として他学会の任期や改選方法等について検討し、次回理事会により具体的な提案を行うよう富田理事に要請した。制度変更を行う場合は、次回の定時社員総会での審議事項とすることを目指す。

(9) 第9号議案 就業規則の改正について

八田総務担当理事より、第13条特別有給休暇の追加、第14条育児休暇の女子限定の撤廃、第36条就業規則の改廃について提案があり、承認された。

(10) 第10号議案 人間工学グッドプラクティス賞選考及び授与規程案について

阿久津表彰委員長及び吉武広報委員長より、人間工学グッドプラクティス賞選考及び授与規程とその細則案が提案され、承認された。

## 【報告事項】

### (1) 総務報告

#### (1-1) 一般社団法人日本人間工学会 第12回理事会議事録

メール審議を経て第12回理事会議事録が確定した旨、報告があり確定した。

#### (1-2) 会勢報告(11月末)

2011年11月末現在、会員数1874名(4月に比べ25名増)、賛助会員35社36口(同1社1口減)。

#### (1-3) 大会講演集のJ-Stageへの掲載状況

10月中旬に第52回大会講演集(東京・早稲田大学)がJ-Stageに公開された。

#### (1-4) 事務局職員の退職について

渡辺事務局員が2012年2月末日付で退職すること及び退職金規程に従い退職金を支払うことにつ

いて報告があり、了解された。

(2)安全工学シンポジウムの共催及び実行委員の推薦

斉藤理事長より、安全工学シンポジウム 2012 の共催を了承し、委員として青木理事を推薦した旨報告があった。

(3)ヒューマンインタフェース学会からのお礼状

JES がヒューマンインタフェースシンポジウム（2011 年 9 月、仙台開催）に協賛したことに対し、ヒューマンインタフェース学会より感謝文をいただいた旨、斉藤理事長より報告があった。また大会長でもある北村東北支部長からも、この場でお礼の言葉が述べられた。

(4)自動車技術会からの「人間工学研究のための倫理指針」使用許諾（理事長）

研究倫理ガイドライン作成にあたり自動車技術会から当学会に対し、当学会の倫理指針を参考にし、一部を引用することについて許諾の依頼があり、斉藤理事長より承諾した旨報告があった。

(5)IEA Officer への JES 推薦

斉藤理事長より、メール審議の後、2011 年 12 月 10 日付で藤田祐志氏(国際人間工学連合 PSE 委員長)を IEA 三役に推薦した旨報告があった。2012 年 2 月のブラジルでの IEA 理事会にて審議される。

(6)財務報告

三林財務担当理事より以下の報告があった。

・平成 23 年 11 月度収支決算報告

11 月度収支は、ほぼ例年通りの状況であった。

・第 52 回大会からの寄付金

第 52 回大会（河合隆史大会長、早稲田大学）より、1,181,107 円の寄付金があった。深く感謝する。

・複数年会費未納者について

現在、200 名以上いる複数年会費未納者への対応を財務から次回理事会に提案する予定。

(7)第 53 回大会準備状況

栃原大会長より、従来一般発表、公募シンポジウムのほか、特別講演、公開講座、学会主催シンポジウム、大会シンポジウム、キーノートレクチャー、施設見学等を企画しているとの報告があった。

(8)担当・委員会報告

(8-1)広報委員会

大内広報委員より、「人間工学を社会の常識に」と題した JES 公開講座が 2011 年 10 月、東海支部、三重県立看護大学の共催で開催された旨、報告された。紹介記事が人間工学第 47 巻 6 号に掲載される予定。

(8-2)編集委員会

編集委員会より提出された報告を確認した。

(8-3)国際協力委員会

堀江委員長より以下の報告があった。

・ESK/JES Joint Symposium 2012 は、2012 年 5 月 25 日(金)～26 日(土) 韓国・済州道で開催される予定。

・ESK 会長が 2012 年 1 月より Prof. Jeong Yong Kim (Hanyang Univ.)となる。

- ・現在、IEA 2018 大会に立候補しているのは、ウイスラー(カナダ人間工学会)、フィレンツェ(イタリア人間工学会)、イスタンブール(トルコ人間工学会)、ムンバイ(インド人間工学会)。以上4件から、2012年2月のIEA Council Meeting: Recife, Brazilにて投票により決定される。

(8-4) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、前回理事会以降のISO/TC159国内対策委員会の活動が報告された。現在、次期JENCの委員を公募しているので、立候補や推薦をお願いします。

(8-5) 日本学術会議担当

青木担当より、安全工学シンポジウム2012(2012年7月5,6日、日本学術会議)の企画及び講演募集があった。オーガナイズドセッションの締切は1月27日の予定。

(8-6) 横断型基幹科学技術研究団体連合担当

青木担当より、横幹総合シンポジウム2012が2012年11月2,3日に日大生産工学部において開催される旨、報告があった。

(8-7) 人間工学専門家認定機構

青木機構長より、専門資格登録者、準専門家試験結果、CPEセミナーの開催、会報の発行について報告があった。

(8-8) 国際人間工学連合PSE担当

藤田担当及び斉藤理事長より、IEA BY-LAWS(定款案)について理事に対し意見募集を実施した後、IEAに承認と回答した旨、報告があった。2012年のIEA理事会(ブラジル)で決定する予定。

(8-9) ニーズ対応委員会

榎原委員長より、JESホームページにグッドプラクティスのほか、人間工学を学べる大学、その他情報のデータベース化を進めている旨、報告があった。

(8-10) 第3期選挙管理委員会

堀江委員長より、第1回から第3回までの委員会を予定通り実施し、選挙が順調に行われている旨、報告があった。

(8-11) 企業の人間工学教育のあり方検討委員会

酒井委員長より、第1回及び第2回委員会開催の報告及び現在進めている中小企業を対象にしたプロジェクト(協力:静岡県工業技術研究所、労働科学研究所)についての説明があった。

(9) 支部報告

(9-1) 北海道支部

横山支部長より、支部長の互選、監査方法の変更、支部総会と大会の開催(11月12日、(独)科学技術振興機構)について報告があった。

(9-2) 東北支部

北村支部長より、1月14日(土)及び28日(土)に地震・津波対策に関する支部研究会を開催する旨、告知があった。

(9-3) 関東支部

八田支部長より、12月10,11日、芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて第41回大会及び第17回卒業研究発表会を開催した旨、報告があった。なお、第42回大会は平成24年12月1,2日に徳田哲男大会長のもと、埼玉県立大学にて開催される。

(9-4) 東海支部

斎藤真研究大会長より、東海支部2011年研究大会を10月29日、三重県立看護大学において開催した旨、報告があった。

(9-5) 関西支部

小谷理事より、12月10,11日、神戸大学深江キャンパスにおいて平成23年度関西支部大会を開催した旨、報告があった。初の試みとして、アーゴデザイン部会企画セッションの関西・関東両支部での同時中継を実現した。

(9-6,7) 中国・四国支部、九州・沖縄支部

支部大会を11月26日、下関市生涯学習プラザにおいて中国・四国支部と共同開催したとの報告を確認した。

(10) 協賛等の依頼

9件の依頼について協賛、後援等をする旨、理事長より報告があった。

(11) 今後の理事会日程（予定）について

平成24年2～3月、5月、6月

5. 閉会

以上の議事を終え、17時30分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成23年12月17日

議 長 斎 藤 進 ㊟

議事録署名人 八 田 一 利 ㊟

議事録署名人 大 内 啓 子 ㊟